



参加無料

12月14日(土) 14:00~(前半)

12月15日(日) 10:00~(後半)

@エコロジーガーデン
(新庄市)

日常からは少し遠いところにあると思われがちな、演技、演劇は、実は今まで（ほとんど）誰しもが、お遊戯会などの特別な機会でもなくとも、経験したことがあります。

それは、おままごと（ごっこ遊び）と呼ばれたり、かくれんぼ（鬼を演じます）と呼ばれたり、ケイドロ（警察と泥棒を演じます）と呼ばれたり、そう、身体を使って役割を担う遊びは全て演技・演劇です。

実は（なかなかそのように思われませんが）演劇は、絵を描くことや、歌を歌うことほどの身近さで行うことができる芸術です。なぜならそれは、私たちが持っているとても身近な2つの能力に由来するからです。ひとつは運動能力、もうひとつは想像力のことです。

子供や大人、分け隔てなく身体と想像力を駆使して遊んでみる。遊ぶ、という言い方が嫌なら「脳みそのトレーニング」と思ってください構いません。

演劇で架空の街をつくる。

お菓子の家でもオレンジジュースの沼でもこんにやくの床でもなんでも構いません。つくって、そこで演劇してみましょう。

【プロフィール】

山本卓卓（やまもとすぐる）1987年生まれ。山梨県出身。範宙遊泳代表・劇作家・演出家・俳優。2007年、桜美林大学在学中に範宙遊泳を旗揚げ。すべての作品の脚本と演出をつとめ、たまに出演もする。2012年には、人間に焦点を当て取材を元に生い立ちから掘り下げて作品化するソロプロジェクト「ドキュメント」を始動。近作はプロジェクター投影の文字・写真・絵・映像・光と、俳優を組み合わせた独自の演出方法を確立し、映像や音楽の制作・オペレーションも手がけている。

代表作は「幼女X」「さよなら日本-瞑想のまま眠りたい-」など。

<http://www.hanchuyuei.com>

お問い合わせ、お申込：090-6227-5360

